

学校だより

1月号

<http://www.edz.city.yamato.kanagawa.jp/s-chu/>

「癸卯」は飛躍の年



校長 吉田 美佳

新年明けましておめでとうございます。

2023年元日の朝には雲ひとつない空に初日の出を見ることができ、その美しい輝きに希望と生命力を感じました。続いて三が日も清々しい晴天が続き、皆様も新たな年の始まりをお子さま、そしてご家族の皆さまと迎えられ、ご健康・ご多幸を祈念し、お祝いされたことと存じます。

2023年は、東洋の「十干十二支」の考え方では「癸卯」（みずのとう）の年です。

「癸」はひとつの物事が収まり、次の物事へ移行する段階を表しています。「卯」は十二支の4番目で、「春の訪れを感じる」という意味、また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味があるとされています。これらを合わせた「癸卯」は「これまでの努力が花開き、実り始める」といった年を予感させます。



昨年までは感染症流行の影響もあり、学校生活においても厳しい冬のような時期でした。このような中において、修学旅行やキャンプ、遠足などの校外学習や、多くのゲストティーチャーをお呼びして体験学習が実施できたこと、また、授業参観やPTA行事「中林フェスタ」を開催し多くの方々と交流できたことなど、子どもたちが学び続けて来られたのは、保護者・地域の皆様のご理解・ご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。今年も子どもたちが安心して笑顔で学校生活が送れるよう、教職員一同、力を合わせ教育活動に取り組んでまいります。

ウイズ・コロナで健康と安全を守りながら、多様性あふれる子どもたちがより深く学び合い、交流しつつ成長できるように、今年も改革を続けて参ります。大きな行事のひとつである運動会のあり方についても、昨年より検討しています。重点目標である「いつも『何のため』を考え、自ら行動しようとする子」の育成を踏まえ、運動会の目的から深く広く掘り下げて考え、全教職員で意見を出し合い、何度も議論を重ねてきました。そして、今後の本校の運動会は、次のように行いたいと結論しました。

開催時期はこれまで通り春とし（令和5年度は6月3日（土）予定）、熱中症対策も考慮して午前中に実施します。種目は、全学年の演技発表に加えて、1・3・5年生の団体競技、2・4・6年生の徒競走、高学年リレーをプログラムに入れる予定です。また、自主的な態度を育成するために、応援団や6年生の係活動も行いたいと考えています。コロナ禍の制約が続く中、新校舎増築により校庭も狭くなったため、細かい調整は必要ですが、行事は子どもたちの成長にとってかけがえのない大切な経験であるという思いを中心に据えて今後も検討を重ねていきます。

卯（うさぎ）は、「飛躍」・「向上」を象徴するものとして親しまれ、新しいことに挑戦するのに最適な年とされています。うさぎのように跳躍し、飛躍する希望に満ちた一年になるよう願っております。